



「スタジアムエコツアー」を開催しました

2026年7月27日(月)にADSS初の試みとなるイベント「スタジアムエコツアー ～スポーツと環境の共生を学ぼう～」を日産スタジアムにて開催しました。

「スポーツと環境」を専門とされている東海大学の准教授・大津克哉先生と、日産スタジアムエコツアーの担当皆様にご協力をいただき、プログラムを実施しました。はじめに大津先生によるセミナーを通して、スポーツと環境問題の関係について参加者に理解を深めていただき、その後スタジアム内や周辺をまわり、日産スタジアムが実践する環境活動を見学・体感できるツアーを70分間おこないました。

前半は、大雨時の浸水被害を軽減する遊水地としての防災機能や雨水利用など、スタジアムがどのような環境活動に取り組んでいるかを実際の設備を見ながら学びました。後半では、数多くの国際大会がおこなわれる日産スタジアムだからこそ見ることができる選手のロッカールームや、貴重な展示を間近で見学し、生徒の皆様も興奮している様子うかがえました。また、実際に芝生に立ち、プロスポーツ選手と同じフィールドに立ち、日産スタジアムを体感しました。「スポーツ×環境」の学びを深めると同時に、スポーツの価値を感じる貴重な体験となりました。



ワークショップを通して環境問題を自分ごとに

ツアー後、残りの30分間でワークショップを実施。テーマは「2030年の日産スタジアムをもっとサステナブルにするには？」。セミナーとツアーで得た学びをもとに、参加者一人ひとりがテーマに沿った企画を考え、グループ内で発表しました。今回のイベントには多くの学校から生徒が一堂に集まり、意見を交わしました。各グループには大津先生のゼミ生もメンターとして加わり、参加者とコミュニケーションを取りながら、アイデアづくりをサポートしました。

以下、大津先生よりコメントをいただきました。

「今回のエコツアーでは、セミナーでスポーツと環境の関係を『知る』、日産スタジアムの環境への取り組みを実際に『見る』、そしてワークショップで2030年のスタジアムを『考える』という一連の体験を通じて、環境問題を身近に捉えてもらうことができました。特に、中高生ならではの柔軟な発想から具体的なアイデアが生まれたことが印象的でした。スポーツを楽しみ続けられる環境を未来へつなぐために、自分たちに何ができるのかを考えるきっかけとなる有意義な機会になったと感じています。」



アイデアを考え、みんなと共有する

ワークショップ「2030年の日産スタジアムをもっとサステナブルにするには？」での企画案を一部で紹介します。

企画名：次世代につなげろ！CO₂削減わくわくロード

企画内容：・日産スタジアムまでの道をより緑豊かにし、自家用車での来場を削減
・環境に配慮したシャトルバスの運行を実施



企画名：エコルーフ

企画内容：・太陽光パネル付きの屋根を設置し、より多くのエネルギーを蓄える
・座席ごとにリサイクルボックスを設置し、ゴミを減らして循環型ヘシフトする



スタジアムエコツアー 実施概要

開催日 | 2026年7月27日(月) 1回目 10:00~12:30 2回目 14:00~16:30

場 所 | 日産スタジアム(神奈川県横浜市港北区小机町3300)

参加校 大妻嵐山高等学校	橘学苑高等学校	三田国際科学学園中学校・高等学校
かえつ有明高等学校	立花学園高等学校	森村学園中等部・高等部
佼成学園女子高等学校	東海大学付属高輪台高等学校	横浜隼人高等学校
昭和鉄道高等学校	三浦学苑高等学校	

など